



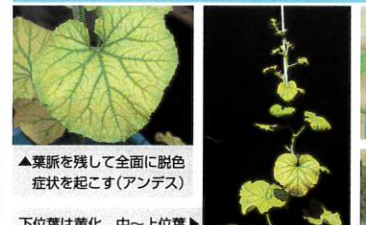

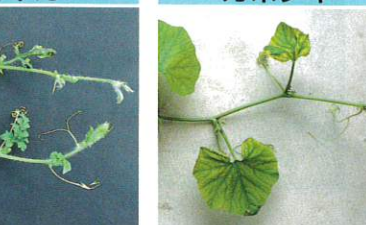
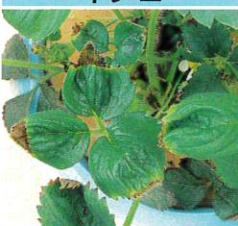



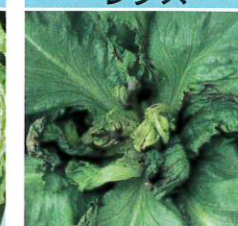
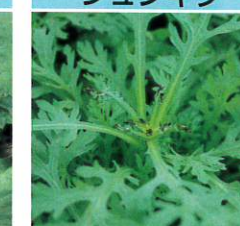


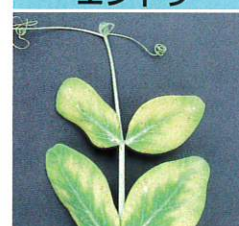





カルシウム欠乏の症状と診断

トマト  <p>作物全体が萎縮する(左: 欠乏区、右: 完全区)</p> <p>生長点付近の若い葉の周縁部が褐変、枯死する</p> <p>果実の花つき部が黒変する(しり腐れ)</p>		ナス  <p>先端部付近の生育が阻害され、葉脈間が褐変</p> <p>果実はしり腐れを起こす</p>		ピーマン  <p>先端部の葉の生育が阻害され、いびつになる</p> <p>果実に障害が発生する</p>							
キュウリ  <p>欠乏初期には、若い葉がカールを起こす</p> <p>欠乏がすすむと上位葉の葉脈間が黄化し、小型化する</p>		メロン  <p>下位葉に残った黄化症状(アムス)</p> <p>症状が進むと葉の黄化がひどくなり、枯死する(プリンス)</p> <p>▲葉脈を残して全面に脱色症状を起こす(アンデス)</p> <p>下位葉は黄化、中～上位葉は枯死、生長点付近は落下傘葉になる(アンデス)</p>		スイカ  <p>先端部付近の葉の生育が阻害される</p>		カボチャ  <p>上位葉に発生。葉脈間が黄化し、奇形になる</p>					
イチゴ  <p>新葉の葉先が褐変する</p>		ダイコン  <p>新葉を中心に生育が阻害され、葉の先端部から褐変枯死する</p>		キャベツ  <p>心葉の生育が阻害され、葉が内側に巻く</p>		ハクサイ  <p>心くされ症状。結球をたてに切ると中心部が褐色に腐敗している</p>		レタス  <p>心葉の葉脈が褐変し、生育が阻害される</p>		シュンギク  <p>心葉やまわりの葉の先端部が褐変し、枯死する</p>	
セルリー  <p>生長点の生育が阻害され、若い葉が枯死する</p>		ネギ  <p>新葉の中～下位部に不整形の白色枯死斑点を生じる</p>		エンドウ  <p>先端部の葉から障害が発生する</p>		リンゴ  <p>果実に症状が出やすい。赤道部より下に小斑点が生じる</p>		ナシ  <p>果実は裂果しやすく、果頂部から亀裂が入る</p>		キク  <p>先端葉の生育が阻害され、葉脈間が黄化して葉縁から枯死する</p>	

だから 畑のカルシウム[®]

*製造特許取得

特長

1. 水に溶けやすく、作物に効率的に吸収されます。
2. 散布後、粒が速やかに崩壊するため、カルシウムの吸収がさらに向上し、品質の向上と病気予防に有効です。
3. カルシウム欠乏症が発生していなくても、施用することで増収します。(右のデータ参照)
4. 土壌pHを変化させません。

「畑のカルシウム」を施用したジャガイモはL～2Lサイズが増え、増収しました。

	マルチなし 無施用	マルチなし 畑のカルシウム施用	マルチあり 無施用	マルチあり 畑のカルシウム施用
2S				
S				
M				
L				
2L				
L+2L (t/10a)	1.2	2.2	1.9	2.7
総収量 (t/10a)	2.6	3.6	3.8	4.5

*4,500株/10aとして計算した。